

東京都日本中国友好協会—北京市人民対外友好協会 2017年度 友好交流活動に関する覚書

2016年11月4日 北京にて

宇都宮徳一郎会長を総団長とする認定NPO法人東京都日本中国友好協会（以下東京都日本中国友好協会という）「北京市人民対外友好協会成立35周年祝賀記念」2016年市民交流訪中団は、北京市人民対外友好協会の招聘により、2016年11月3日から11月8日にかけて中国を訪問した。北京滞在中に、草の根の友好交流35年間を活写する「（初心を忘れず、華章を書き継ぐ）—北京東京民間交流写真展」開幕式典並びに北京無形文化財中心での無形文化財の参観、手作り細工体験という市民交流に参加した。

両協会は2016年度の友好交流活動の実施状況と成果について総括し、双方とも満足 of 意を表明した。日中間には依然として難しい問題があるが、共通の課題に前向きに取り組む両国の首都同士、協会間の「相互理解」と「友情」と「信頼」は一段と深められた。

両協会は、来年の国交正常化45周年を最大限に活かして、引き続き文化、スポーツ、教育、青少年など伝統交流活動面を充実・活発化すると同時に、新しい分野での交流を切り開き、円滑な友好交流を積極的かつ効果的に進め、中日両国世代友好の後継者を育成し、2017年度の友好交流計画について、意見交換を充分に行った上で、以下のように合意した。

- 一、日中国交正常化45周年を記念するため、2017年の秋に北京市人民対外友好協会が北京で記念行事を行い、東京都日本中国友好協会が訪中団を派遣する。
- 二、東京都日中友好協会は日中国交正常化45周年記念事業として皇居マラソン、東京北京友好交流歴史写真展などを開催する。
- 三、日中国交正常化45周年を記念するため、北京市人民対外友好協会が東京で北京書道芸術訪日団を派遣する。
- 四、両協会は引き続き太極柔力球、青梅マラソンなどの交流事業を行い、中小企業家相互訪問などの交流を実現する。
- 五、北京市人民対外友好協会は北京市青少年キャラバン訪日団を派遣する。東京都日本中国友好協会は、北京市人民対外友好協会の協力・支援のもとに適時に青年代表団を派遣する。
- 六、2017年度両協会間の諸交流項目はすべて日中国交正常化45周年を記念する事業の一環として、相互的に協力し合う上で完成する。
- 七、上記の各項目の具体的な交流内容及び実施方法については、両協会の担当部門を通じ、別途協議の上決定する。

認定NPO法人東京都日本中国友好協会

宇都宮徳一郎

北京市人民対外友好協会

田雁

北京から

新年のごあいさつ



北京市代理市長

蔡奇

辞旧迎新に際し、私は、東京都日中友好協会、中日両国及び両国首都の友好事業に関心と支持を寄せられている各界の皆様へ、謹んで新春の祝福と心からのご挨拶を申し上げます。過去の一年を振り返ってみると、両市の友好都市関係は発展して、積極的な成果を得ました。東京都は北京市の始めての国際友好都市であり、友好関係の維持と発展、互いに協力の展開と深化することは中日両国及び両国首都人民の相互理解と友情の増進に繋がると思っています。

今年の日中国交正常化45周年を迎えます。長い間、東京都日中友好協会は中日友好事業の支持者、参加者、そして推進者として、両国首都及び両市市民の友好のために実りがある、盛りだくさんの交流事業が行われました。これに對し、敬服の意を表します。新しい一年を展望して、私たちは様々な交流と協力を通して、両国首都人民の友好の促進、そして中日友好の維持と発展のために一層力を入れたいと思います。

最後に、東京都の友人のご多幸、北京市と東京都の友好がいつまでも続くようにお祈り申し上げます。



北京市人民対外友好協会常務副会長

田雁

辞旧迎新に際し、私は北京市人民対外友好協会を代表して、東京都日中友好協会及び中日友好事業に関心と支持を寄せられる各界の皆様へ、謹んで新春の祝福を申し上げます。2016年に、私たちは力を合わせ、文化、スポーツ、教育など伝統的な交流活動を良くした上で、新しい交流分野を切り開き、青少年、青年企業家、社団・組織、女性交流及び太極拳、柔力球などを通して、両市民間の相互理解と友好関係を促進して、北京市と東京都の友好都市関係及び民間往来のために積極的な役割を果たしました。

2017年を展望して、日中国交正常化45周年を迎える運びとなりました。私たちは今まで通り、東京都日中友好協会を始めとする友好団体と一緒に民間組織の架け橋の役割を果たし、草の根レベルの交流活動を催して、中日友好のためにベストを尽くしたいと思います。平和と発展はこの時代のテーマであり、中日友好の人々の共通の願いでもあります。私たちは世界の平和と発展のためにがんばりましょう。

最後に、東京都日中友好協会の益々のご発展と、友人の皆様のご多幸をお祈り申し上げます。



都日中内組 織にお いて、 プロジェク トとして、文化交 流委員 会企画の皇居マラソンを 2017年3月11日に中 国大使館ほかの後援・協 力により、日中友好記念 マラソンを実施する。北 京でも同様記念マラソン を北京市関係者のご協力 で開催したい。広報委員 会では、日中友好写真展 の開催を準備している。 このほか、青年の交流を はじめ、スポーツ・文化 関連事業企画が様々寄せ られている。今後、北京 市対友協と密接な連携の もと、中国大使館及び本 部協会ほか関係者のご協 力を得て、プロジェクト 45」事業を計画・実施 し、東京―北京、日中の 友好交流を幅広く推進し てまいります。(須藤誠)

浄土宗 梅窓院

住職 中島真成

〒107-0062 東京都港区南青山2丁目26-38
電話 03 (3404) 8447 (代) FAX 03 (3404) 8107
梅窓院ホームページ URL=http://www.baisouin.or.jp/

あしたの「笑顔」を創造する。



株式会社 ミノファーマーゲル製薬
〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 TEL 03 (5909) 2323 (代)

2016年 市民交流訪中団 厦門・華安土楼から コロンス島へ Bコース

2016年東京都日中友好協会訪中団は、宇都宮徳一郎会長を総団長に11月3日北京市を訪問した。翌日に、北京市人民対外友好協会で開催された「北京・東京 民間交流写真展」開幕式に参加後、北京飯店における歓迎宴に出席した。

歓迎宴前、宇都宮会長と田雁常務副会長の間で、「2017年東京―北京 両協会交流事業」に関する7項目にわたる覚書が調印・交換された。2017年は日中国交正常化45周年を迎えることから、すべての交流事業を「45周年記念事業」とし、両都市市民・日中の「草の根交流」を幅広く進めることにより、友好交流をさらに発展させることとした。

11月5日午前、須藤誠理事長を団長にBコースメンバー8名(北京市対友協の李維建科長を含む)は北京空港から厦門へ出発することとした。3時間10分のフライトである。厦門では2泊の予定で、世界遺産「華安土楼」や「コロンス島」を見学する予定である。



初日はA・B・C三コース全員が天壇公園で記念撮影

厦門は上海よりさらに南に位置し、海をはさんで台湾の対面にあり初冬でも温暖で過ごしやすいためである。実は、訪中前またまた厦門市観光局長一行が都日中を訪問され様々なお話を伺っていた。

北京空港に到着後、フライトインフォーメーションには、スモッグのため多くの便のキャンセルが表示されており、厦門便もキャンセルであった。対友協の李科長と次便等のチェックをするも本日のフライトは無理と

判断し、改善の策で新幹線を利用することとした。北京南駅まで地下鉄を利用し、上海までの1等のチケットを購入した。乗車時間は5時間である。スモッグのおかげで思わぬ体験ができた。快適で素晴らしい新幹線の旅であった。

当日は厦門まで行くのは無理なので、上海空港ホテルで1泊し、翌日の午前便で、2時間かけて厦門に飛んだ。

空港到着後、バスで予定されていた世界遺産「華安土楼」見学に向かった。土楼は「真田丸」ではないが、敵から家族村を守るための土と石で作った円形の城であり円形内部には中央に各家族共有の広場があり、コミュニティの場となっている。翌日午後は帰国日である。午前中に予定されていた「コロンス島」見学に行き、アヘン戦争後の各国(13ヶ国)の租界

となっており、きれいに整備されている島には多くの観光客でにぎわっていた。当時の日本領事館あとも見学した。温暖気候でもあり草木が生い茂り美しい島であった。

様々な旅程変更にあたり、李維建科長には大変ご苦労をおかけしました。的確な判断に感謝いたします。そしてB班のすべてのメンバーにもご協力いただき感謝いたします。ありがとうございました。

だが、北朝鮮側は煙が続いているばかりで、人もいない。これが国境だとはとても思えなかった。夜、北朝鮮が経営している料理屋で食事。最初ウナギの蒲焼が出てきたが、いつの間にか無くなっていった。誰かが食べたのではなく、他のテーブルに行っていたのだろうか。食事が終わった頃、歌と踊りのショウが始まり、手をとられ、舞台上一緒に踊らされた。

北朝鮮国境の街 丹東から大連港へ Cコース

Cコース



11月5日、北京の日程を終え、瀋陽・丹東・旅順・大連へ旅立つことになった。当日、空港に向かう高速道路は、スモッグがひどく使用不能の情報が出ていたが、なんとか空港に到着した。空港は大混雑、出発時間は不明。やむなくその場で待機。参加者は8人、対友協の盧さんが案内役。

朝の9時40分発の飛行機が出発したのは、午後3時過ぎ、瀋陽には夕刻到着。予定の市内見学は中止して、ホテル直行。翌6日午前の高速列車で丹東へ。初めての街、高層ビルが林立し、近代都市の様相にびっくり。北朝鮮との国境の街だとは知っていたが、このように大きな街とは想像していなかった。北朝鮮とは鴨緑江を橋で繋がれている。橋は二本あり、一本は朝鮮戦争の時にアメリカ

軍によって破壊され、断橋として残され、途中まで行くことができた。あと一本は正常に利用されているが、人影も車も列車も見られなかった。

丹東には、万里の長城の東端、虎山長城がある。東端は山海關だと思っていたのでびっくり。長城の反対側はリング畑になっており、その先に数メートル巾の小川がある。川の間には北朝鮮だといふ「一歩跨」の看板があり、国境に違いが感じられる。小川の中国側は、鉄製の柵があり、警備兵がいた。

たが、北朝鮮側は煙が続いているばかりで、人もいない。これが国境だとはとても思えなかった。夜、北朝鮮が経営している料理屋で食事。最初ウナギの蒲焼が出てきたが、いつの間にか無くなっていった。誰かが食べたのではなく、他のテーブルに行っていたのだろうか。食事が終わった頃、歌と踊りのショウが始まり、手をとられ、舞台上一緒に踊らされた。

丹東と北朝鮮との間に海に近いところにも二本橋が架けられている。工業団地の専用の橋とか、国際的な制裁の環か、工事が中止されていた。

7日、丹東から旅順へ約350キロ(バスで約5時間)、日露戦争のときの会談場所「水師營」を見学。最大の激戦地「二〇三高地」に登る。山全体にトーチカが作られており、壁にはさまざまな銃弾の跡が残されていた。山頂からは旅順港の

全貌が見渡され、子供の頃教科書で教えられた旅順港の入口が狭くなっている。そこに日本の軍艦を沈めてロシアの艦隊を封じ込めたという場所を眼にすることができた。

8日、大連の中山広場、大和ホテル、大連港を見学。敗戦時東北にいた日本人数万人が、集結、帰国した港である。

三宅団長の「これまで何回か中国に来たが、今回のたびが一番良かった」の言葉が印象的でした。(三好敏)



振子手振りを交えながらか相手に自分の思いを伝えようとし、その結果相手に自分の思いが伝わったと分かった際の喜びも普段以上で嬉しかった。

また言語の違い以外でも、文化の違いなどを理由に壁を感じていて、思いを共有出来るし、思いは伝わると思っています。大切なのは自分の気持ちだと思います。

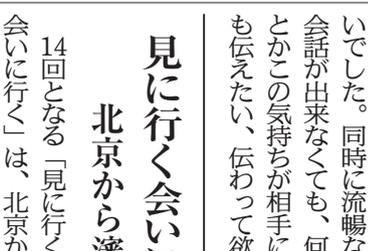
こういつた事を感じる事が出来たのも、今回の訪中での実際の中国を見る事が出来た結果であり、とても感謝しております。同時にもしっかりと中国の事を自分自身の目で見て知りたいと感じました。今回は貴重な体験をさせて頂き、ありがとうございました。

私はいくつかの都日中訪中団での訪中が、初めての中国訪問であると同時に初めての海外訪問となりましたが、今回の体験で感じた事は「相手に思いを伝える」という事です。普段の生活で会話に不自由するという経験がこれまであまりありませんでしたが、中国では日本語はもちろん、英語が通じない事もあり相手とのコミュニケーションには不自由し正直壁を感じました。ですが、だからこそ普段以上に「相手に自分の思いを伝えたい、伝わって欲しい」という思いは強くなりました。身も伝えたい、伝わって欲しいなと思いました。

そして今思う事は、確かに言語の違いは壁ですが、決して超えられない壁ではなく、それを理由に交流などを諦めるのはもったいないという事です。住む場所や言語が違っていても、実際に会って接する事で、同じ気持ちで共有出来るし、思いは伝わると思っています。大切なのは自分の気持ちだと思います。

初めての中国訪問の旅 渡辺 俊一 〈ミフアーゲン製菓〉 Aコース

Aコース



14回となる「見に行く会」は、北京から瀋陽、大連へ。北京での懇親交流会では、北京市婦女連合会、人民対外友好協会、羽仁もと子・吉一夫妻設立の自由学園北京生活学校卒業生との関係者が集まり、テーマは家庭での手仕事で

窓からは日露戦争最大の奉天陸戦跡の遼陽、首山堡などへ思いを馳せました。大連は大連港、大連機場の海と空から世界のへ広がる美しい近代都市です。

かつて我が国の国威に目を覚ます旧関東軍本部や大和ホテルなど、また旧日本人街、ロシア風情の街並みが今も残っています。そして旅順へ。日清戦争の歴史を深く心に染み込ませる旅です。(三宅進)

帰国者の方々と一緒に、ちよっと早い「春節」をお祝いしましょう！

★日時 2017年1月22日(日) 午後1時から3時30分

★会場 豊島区生活産業プラザ

★参加費 2000円

★主催 東京都日中友好協会

※歌と踊りとビンゴもありますよ！

鶏冠山堡壘などを訪ねました。それらは一体何だったのか。そこでは数多くの清国軍、ロシア軍、日本軍の将兵が斃れ、多くの中国人民も犠牲となりました。民族を越えて神の子たる人間が愛し合うべく精神を思うとき、涙の溢れるのを禁じ得ないのです。

安重根処刑の旧旅順刑務所へとも思いながら、深く心に染み込ませる旅です。(三宅進)

見に行く会に行く中国の旅
北京から瀋陽、大連へ

ご家族の安心のそなえはできていますか

生花・介護用品・患者移送から お葬儀のことまで

ISO9001 認証
— テレモア 共済 —

東京都日中友好協会ライフクラブ

— 特にお葬儀(※)の50%割引が経済的です。 —

※割引特典は事前のご入会により適用となります

資料 事前 0120-60-1121 「もしもノート」「家族葬」「ファミリーライフクラブ」「仏事の
請求 相談 ころえ・マナー」など資料をお送りさせていただきます。

入会金のみ
50,000円のところ
45,000円(税込)
※年会費・月々の掛金なし

株式会社 テレモア
Eternal Heart
葬儀・式場・仏壇・霊園

新宿本社 / 東京都新宿区四谷4-19-7 ☎03(5379)0111 (大塚)
東京紀尾井町本社 / 東京都千代田区紀尾井町3-12紀尾井町ビル6階

えびさわ よしみつ
担当: 海老澤 孝光